

ページ	質問議員	質問事項
8	中原敦子	●小・中学校の私費負担について
9	大沢 淳	●土地開発公社の解散に向けて ●手話言語条例の制定と聴覚障害者に配慮した行政対応 ●外来植物ナガミヒナゲシの駆除 ●中小企業振興条例と BUY 伊奈 ●西小針公園で一部球技が禁止されていることについて ●火災後の建物、火災ごみ等の解体撤去
9	上野克也	●自立を目指す市町村の主体的かつ計画的な取組を支援する「ふるさと創造資金」について ●少子化対策推進事業の活用について ●地籍調査事業の促進について ●災害時における避難所や病院等でのお湯等飲料の確保のための災害時支援協定について ●就学援助について
10	水上邦雄	●介護保険の現状について ●介護保険制度の今後の方向について ●施設介護と家庭介護の充実を図るために ●臨時福祉給付金について ●子供の貧困対策について ●防災対策について ●南中通学路の安全対策について ●ゴミ出し支援制度「ふれあい収集」について
10	藤原義春	●伊奈町の農家レストランについて ●栄地区の交差点の信号について ●勉強が得意な中学生の救済策について ●伊奈町立中学校の生徒の意見を聞くことについて ●小学生と地域住民とのつながりについて
11	青木久男	●児童・生徒を痛ましい事件から守るために ●安定した労働環境を築くため公契約条例の制定を ●貧困対策などに「子ども食堂」の設置を ●教職員の勤務状況と負担軽減について
11	上野尚徳	●伊奈町・薬科大・県民活動センター。3者・相互連携協定について ●町立小・中学校の整備について ●町民に優しい、便利で住みやすい町づくりを ●町制施行50周年の記念事業について
12	奥田とみ子	●認知症早期発見のために ●手話言語条例制定に向けて
12	栗原恵子	●誰にでも優しい選挙の実施について ●教員の負担軽減について ●部活動について ●桜の植樹について
13	戸張光枝	●子どものインフルエンザ予防接種費用助成に関して ●災害時の小中学校の安全確保に関して ●町内の道路標識や街灯等の安全確保に関して
13	五味雅美	●小中学校教師の多忙化について ●新規採用教師について ●「教育勸語」への見解は



11人が登壇

6月定例議会は、11人の議員が一般質問を行いました。その中から主な質疑応答の要旨を質問した議員の要約により掲載します。

なお、会議中の発言と答弁の詳細は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。(9月下旬掲載)

伊奈町議会

各小中学校は、私費負担を減らす工夫を



なかはらあつこ
中原敦子 議員

問 中学校の制服価格の制約の価格はどうなっているか。

答 学校として定めた制服の販売を取り扱う販売店が、販売価格を決めている。

問 各学校間で、価格の

問 差が生じていることをどう捉えるか。

答 各中学校により指定している制服のデザインが異なっており、価格に差が出ることもある。

問 学校は、価格決定に

問 私費負担を抑えるために、詰襟の学生服や柔道着などをネット通販などで安く購入することは可能か。

答 学校指定の形状であれば、どの店で購入してもよい。

問 小学校の入学に掛かる費用

問 各小学校は、入学に際しての私費負担を減らす工夫をすべき。現状はどうか。

答 準備する学用品について、各小学校とも新入学説明会の前に、品質と金額の両面から見直している。保護者の私費負担が少しでも少なくなるよう、町教育委員会も各小



義務教育の9年間、保護者の私費負担は少なくあってほしいものです

学校へ働きかけていく。

西小針公園で球技の再開を



おおさわ じゅん
大沢 淳 議員

- 問** 禁止された経過は。
- 答** 騒音などマナーが守られないことによる苦情が2人からあったため。
- 問** 再開を。
- 答** フェンスの設置を検討している。近隣住民の理解が得られれば、再開したい。
- 問** 手話言語条例の制定
- 問** 聴覚障害者、手話通訳者、手話サークルなどによる検討委員会の設置を。
- 答** 設置の予定はないが、意見を聞き反映させたい。
- 問** 関係職員の学習・研修機会の確保を。



ボールの使えなくなった西小針公園

- 答** 県等による研修会に積極的に参加をすすめる。
- 問** 聴覚障害者に配慮した窓口対応を。
- 答** 筆談の利用に努めている。
- 問** ナガミヒナゲシの駆除
- 問** 繁殖力が強く生態系へ影響を及ぼす可能性が指摘されているが。
- 答** 研究し、必要に応じて町民への注意喚起を図りたい。
- 問** 中小企業振興条例の制定とBUY伊奈
- 問** 中小企業・小規模企業振興基本条例の制定を。
- 答** 商工会からも要望を受けている。来年度以降できるだけ早い時期に制定するよう努力したい。
- 問** BUY伊奈がすすむための入札改革を。
- 答** 指名業者の選定にあたってはBUY伊奈の観点を配慮している。今後よりよい方策を検討したい。

「埼玉県ふるさと創造資金」の利用を



うえの こくや
上野克也 議員

- 問** 町が取組んでいる事業と、今後の申請計画は。
- 答** 「スポーツを通じた元気なまちの拠点づくり事業」で、町制施行記念公園内旧アヤマ園跡地に健康器具を備えた多目的広場を整備する。9月中旬着手、来年2月末完成
- 問** 結婚新生活支援事業
- 問** 県は、少子化対策推進事業のなかに「結婚新生活支援事業」を推進しているが、伊奈町の取組みは。
- 答** 少子化対策の強化が重要と認識。昨年度は県と近隣4市とともに子育て世帯に対して地域の魅力を伝えるガイドブックを作成し、東京の書店や不動産業者で配布をした。地域ポータルサイト「いなナビ」も立ち上げた。「結婚新生活支援事業」については、今後一手法として研究する。
- 問** 地籍調査事業の促進
- 問** 境界トラブルの未然防止、災害後の迅速な復旧・復興、公共事業の円滑化等が図られ、県は実施する市町村に補助金を交付し促進している。町の取組状況と進捗は。
- 答** 進捗は、実質17%で早期に事業の完了を目指す。



健康器具を備える予定のアヤマ園跡地

介護保険制度の現状と今後の課題は



みずかみに けんじ
水上邦雄 議員

問 介護ロボットの活用状況は。

答 職員の身体的負担が軽減されている。

問 要介護3以上入所者の1年間の退所者数は。

答 町内4施設で84人。状態の悪化で医療機関への入院と死亡が多い。

問 利用料3割負担が導入されようとしているが。

答 個人の所得要件のみで算定すると、28年度の2割負担者128人中75人が3割負担になる。

臨時福祉給付金

問 制度の周知徹底を。
答 申請期限は8月8日



誰もが入れるのが理想、特別養護老人ホーム

までで、5月現在、対象者5500人のうち3564人が申請済。広報紙、町ホームページ、各地区の回覧などで周知していく。

子どもの貧困対策について

問 就労支援は。
答 相談があれば情報提供を行っている。

子育て中の方には、キッズルームや授乳室を備えた「マザーズハローワーク」を紹介している。

通学路の安全対策を

問 県道蓮田鴻巣線小室3268地点の竹藪が道を覆って危険。(写真)

答 北本県土木事務所と地権者に対し適正な管理を要請していく。

ゴミ出し支援制度

問 ふれあい収集制度を。
答 県内24市町村で実施、収集方法を調査し検討していく。

地域住民と小学生をつなぐ催しを



ふじはら よしはる
藤原義春 議員

問 地域住民と小学生をつなぐ催しをもつと増やすべきでは。

答 町内小中学校7校すべてに学校応援団が整備されている。学校応援団とは、地域ぐるみで子供を育てる学校の応援体制であり、登下校時の見守

り、校舎内外の環境整備、学習活動の補助等を行う。催しは、菊づくりやクラブ活動の補助、見守り隊感謝の会があるが、もっと充実を図る。

伊奈町に農家レストランを

問 腕利きのシェフを呼

答 今成医院の近くの交差点は、交通事故も多く、正式な信号にすべきでは。

問 この交差点で、平成26年から直近まで、人身事故が5件、物損事故が12件である。信号機設置については、埼玉県公安委員会の意思決定に基づき設置されるので、押しボタン式から定周期式への変更を上尾警察署に、さらに強く要望する。



栄地区の交通事故の多い交差点
(現在、押しボタン式信号機)

貧困対策等に「子ども食堂」を



あおき ひさお
青木久男 議員

問 貧困家庭や孤食の子どもたちに、無料または格安で食事を提供する子ども食堂が広まりつつあるが、町はどのように把握しているか。町内および近隣の状況について伺う。

答 町内には無く、上尾市では民間ボランティアなどで5団体が市内6か所で週1回程度実施している。

問 子ども食堂は運営次第で地域の共助としての拠点ともなる。学校・家庭でもない「第3の居場所」として子ども食堂を町のイニシアティブで開

問 民間から相談があれば、可能な限りの協力、助言等を行いたい。また、地域の共助により子ども食堂が実施できるかどうか研究していく。

問 新聞等によると、子ども食堂の料金はお手伝いなどの条件を含めて無料が多い。有料でも100円から300円が多い。実施団体はNPO法人や民間団体が多いとしているが、こども食堂を自治体が自ら実施するところもあるのではないか。

答 民間から相談があれば、可能な限りの協力、助言等を行いたい。また、地域の共助により子ども食堂が実施できるかどうか研究していく。



「楽しく食卓を囲む」がテーマの子ども食堂 (群馬県太田市)

答 民間から相談があれば、可能な限りの協力、助言等を行いたい。また、地域の共助により子ども食堂が実施できるかどうか研究していく。

問 新開等によると、子ども食堂の料金はお手伝いなどの条件を含めて無料が多い。有料でも100円から300円が多い。実施団体はNPO法人や民間団体が多いとしているが、こども食堂を自治体が自ら実施するところもあるのではないか。

答 太田市では予算1430万円で市内15か所の児童館で毎土曜に実施。メニューは1000円のカレーライスのみで市内業者に発注。利用対象者は市内の全小中学生で、要予約。盛り付けや後片付けなど子どもと触れ合う時間も大切にしている。

伊奈町・薬科大・県立連携協定の積極的活用を



うえの なおのり
上野尚徳 議員

問 各々の施設を町民が利用出来る連携活用を。薬科大：可能な限り対応。各々、審査し判断。部活動への協力依頼(施設、人的交流)を。中学校と相談し検討。積極的に取組むのか。各中学校と相談し、

問 意向があれば働きかける。伊奈学園にも連携・協力を要請できないか。部活動によっては可能性もある。各中学校と相談後、伊奈学園の状況を確認していきたい。教育を受ける環境向上を

問 小針中：生徒875人で、男子の便器53(大便秘器計)女子の便器36。行列ができ我慢する事も。ゆとりをもち授業に臨める最低限の整備、対策を。プール棟トイレ・水道を屋内仕様に改修。トイレに行き易い環境整備の工夫を学校と協議する。生徒数の適正化。財政負担の軽減。学校区に



小針中学校の喫緊な課題「トイレ・水道」不足への対応を
各学校の定期的なグラウンド整備も課題



便利で利用しやすい「いなまる」を!

問 「伊奈町立小・中学校通学区域審議会」に審議内容として働きかけたい。町内移動、車不要の町へ利用し易いバス「いなまる」への取組みを。喫緊の課題の一つと捉えている。利便性の高い運行形態を検討したい。町制施行50周年記念事業。家族で参加・鑑賞。町民皆が、生涯楽しめる映画を撮影してみたい。多くの選択肢の一つとして検討する。

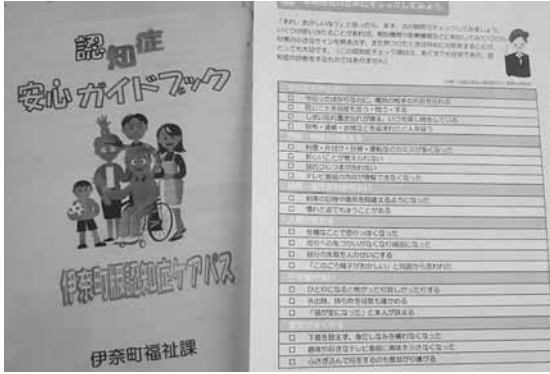
手話言語条例制定に向けて



おくだ
奥田とみ子 議員

問 昨年12月定例議会での質問に対し、町長より前向きな答弁あり。本年3月定例議会で、町長の施政方針の中に、平成29年度中に「手話言語条例」を制定すると明記された。現在の進捗状況は。

答 現在、制定に向けて準備を進めている。検討していく中で、手話の会、聴覚障がい者、手話通訳者など関係者から意見を聞き、11月までに素案を作成し、年内にパブリックコメントを実施して、来年3月議会に「手話言語条例案」を提案している。



認知症早期発見につながるチェックリスト効果に期待します

問 上尾市が実施している手話通訳養成講座に、伊奈町も合同できないか。

答 条例の制定に併せ検討していく。

問 認知症早期発見のために特定健診で「認知症安心ガイドブック」にある早期発見チェックリストを活用できないか。

答 国民健康保険が実施する特定健診の対象項目としての活用は考えていない。

問 認知症早期発見にはチェックリストが有効、特定健診以外で活用していく考えは。

答 敬老会や高齢者向けのサロン、健康長寿教室などで配布していく。

問 昨年度、認知症サポーター養成講座に453人参加。多かった理由は。

答 薬科大生248人、町職員122人参加した。

千本桜の植樹



くりばらけいこ
栗原恵子 議員

問 植樹の候補地は。無線山、丸山スポーツ広場、伊奈氏屋敷跡やその周辺地域を考えている。県の指定史跡や遊水機能等との関係もあるのでは、関係者や専門家の意見を伺い、事業主体や植樹場所等を研究し桜の名

答 所となるよう事業を推進する。なお、伊奈町の桜の名所である無線山桜並木を将来に残すためには、延命化の対策が必要とされる。新たにトラスト保全地内に、後継樹の試験植樹を予定している。

問 教員の負担軽減をす



「緑のトラスト保全第13号地」桜並木の後継樹の試験植樹を行う予定

べきでは。

答 今年度から、教職員が休暇等を取得しやすい環境を作り、教職員の健康増進を図る「サマリーフレッシュウィーク」を実施し8月11日から16日まで県教育委員会主催の教職員を対象とした会議や研修会を実施しない期間を設定し、町教育委員会でも同様の対応をする。

問 部活動指導の現状は。

答 中学校部活動指導派遣事業を実施しているがさらなる検討の必要性も感じており、管理職や指導にあたっては顧問など学校現場の意見を把握しながら改善を図る。

問 18歳選挙権導入時の対策と課題は。

答 引き続き啓発活動に努め、本年5月に栄北高校で選挙講演会を実施しており、協力要請にも積極的に対応する。

子供のインフルエンザ予防接種費用 助成に関して



とばりみつえ
戸張光枝 議員

問 平成28年度、町内小中学校のインフルエンザによる罹患者は。

答 冬季流行期66日間の罹患者は延べ3313人。

問 インフルエンザの発症抑止、重症化予防および子育て世代の経済的負担軽減のため費用助成を行えないか。

答 町は、ロタワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチンの費用を一部負担しているが、他の事業との優先度も含め研究していく。災害時の小中学校の安全確保に関して



規制標式は公安管理

問 災害時のガラス飛散防止のため、また、二次被害を防ぐためにガラスにフィルムを貼る考えは。

答 補助金等の活用を含め、調査研究していく。

町内の道路標識や街灯等の安全確保について

問 倒れてきた標識に児童がぶつかり、軽傷を負った事故が発生した。適切な管理と今後の防止策は。

答 町職員等による点検をはじめ、町民の方々にも協力をいただき、点検を行うことが肝要。引き続き事故防止に努める。

問 公的な標識、街灯等の破損で町民が怪我をした場合の補償は。

答 全国町村会総合賠償保障保険制度に加入している。町が管理する施設の瑕疵により町民の方が怪我等をされた場合、通常、被害者との示談により賠償額を決定し損害賠償を支払う対応をとる。

小中学校教師の多忙化の解消を



ごみまさみ
五味雅美 議員

問 教師には法律で残業させない、残業代は払わないことになっている。多忙化の実態把握と解消を。

答 勤務状況調査等を始めており、課題を明らかにして校務分掌・会議の仕方・働き方の見直しな

ど改善を働きかけたい。健康管理は管理職による把握、健康診断、校医による医療相談を実施している。

問 部活動のエスカレーターは、参加したいと思っ



教師の多忙化は子どもへの影響が大きい

答 水曜を休養日に、土日の制限はなし、複数問制にしている。今後検討する。

新規採用教師の援助を

問 全国で新規採用教師の1年後非採用と、精神性疾患による依願退職が急増している。伊奈町の状況と支援は。

答 この3年間非採用者は出ていない。指導員による研修や、その他の指導助言等で育成に努める。

教育勅語の扱いは排除・失効の国会決議に沿って

問 政府は、これまで禁止してきた教育勅語の扱いを町や教育委員会に委ねると言い出した。教育現場を混乱させる無責任なもの。町の認識は。

答 憲法や教育基本法に反するものとして、戦後の国会で排除・失効が決議されたことは今も引き継がれている。